

## 2021年度 日本学生支援機構予約奨学生候補者募集について

日本学生支援機構より標題の案内が届いております。これは、令和3年4月以降に大学・短期大学・専門学校等に進学し、当該校で奨学金の貸与・給付を希望する生徒が、高校在学中に奨学金の予約を申請する制度です。もちろん、進学先校で入学後に申請することも可能で、奨学金の内容に差異はありません。また、予約申請は今回のみとなりますので、ご注意ください。

予約を希望する生徒に対して後日説明会を行います。少しでも可能性がある人は必ず説明会に出席して下さい。

### ☆募集する奨学金の種類

大学・短期大学・専門学校			
区分	給付奨学金	第1種奨学金(無利子)	第2種奨学金(有利子)
学力基準	2年生までの評定平均値が3.5以上		特になし
所得要件	【第Ⅰ区分】住民税非課税世帯の者 (年収約270万円以下)	父と母双方の収入またはこれに代わって家計を支えている者の収入で算定	
	【第Ⅱ区分】住民税非課税世帯に準ずる世帯 (年収約300万円以下)		
	【第Ⅲ区分】住民税非課税世帯に準ずる世帯 (年収約380万円以下)		
資産要件	本人及び生計維持者の預貯金、有価証券、現金等の資産の合計額が基準額未満であること。	特になし	

※給付奨学金は、要件を確認された学校のみとなります。

※専門学校(専修学校専門課程)については、奨学金取扱校のみ利用できます。

※所得要件の確認は、提出されたマイナンバーにより、機構が確認します。

※機構のホームページに掲載している「進学資金シミュレーター」で、対象となるかおよその確認ができます。

<https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/>

☆支給額(給付奨学金)および貸与金額(貸与奨学金) …裏面をご覧ください。

※家計が特に困難な場合は、『第1種奨学金』と『第2種奨学金』の両方の併用貸与も受けることができます。

(ただし、貸与条件は『第1種奨学金』よりも厳しくなります)

※入学時特別増額貸与奨学金(有利子)の貸与もあります。ただし、それだけを申し込むことはできませんし、

一定の条件があります。振込みは初回振込み時期(令和3年4月～6月頃)になります。

### ☆返還

貸与終了月の翌月から数えて6カ月経過後、国公立学校は14～15年、私立学校は15～20年、私立短大は12～13年で返還します。

### ☆保証制度

人的保証(連帯保証人(保護者)と保証人が必要)または、機関保証(保証料を支払うことにより保証機関が連帯保証する制度。保証料は毎月の奨学金から引かれます)のいずれかの選択をします。

※ その他、ご質問等がありましたら、奨学金係までご連絡ください。

☆支給額（給付奨学金）【大学・短期大学・専修学校】

（月額）

区分	国公立		私立	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
第Ⅰ区分 （住民税非課税世帯の者）	29,200円	66,700円	38,300円	75,800円
第Ⅱ区分 （住民税非課税世帯に準ずる世帯の者）	19,500円	44,500円	25,600円	50,600円
第Ⅲ区分 （住民税非課税世帯に準ずる世帯の者）	9,800円	22,300円	12,800円	25,300円

※第一種奨学金を併せて利用する場合、第一種奨学金の貸与を受けられる上限額が制限されます。

☆貸与金額（貸与奨学金）

（月額）

第1種奨学金（無利子）								
区分	大学				短大・専門学校			
	国・公立		私立		国・公立		私立	
	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外	自宅	自宅外
最高月額	45,000円	51,000円	54,000円	64,000円	45,000円	51,000円	53,000円	60,000円
最高月額 以外の月額				50,000円				50,000円
		40,000円	40,000円	40,000円		40,000円	40,000円	40,000円
	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円	30,000円
	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円	20,000円
第2種奨学金（有利子）								
進学先にかかわらず、月額2万円～12万円（1万円単位）から選択できます （途中で月額を変更することも可能です）								